

山田線の現在の状況について

平成28年2月26日
東日本旅客鉄道(株)
盛岡支社

12月11日(金)山田線「松草～平津戸」駅間で発生した、土砂流入による列車脱線について、現在の状況と今後の進め方等を以下のとおりご報告いたします。

1. これまでの状況

脱線現場の斜面上方に3箇所のクラックが確認されて以来、クラックの進行状況計測を行っておりますが、現在も進行しており、降雨や気温上昇による融雪により、一部のデータではクラック進行が速まるような傾向も見られております。

2. 今後の予定について

クラック進行が引き続き見られることから、融雪期にかけてクラック計測等を継続して進めてまいります。

今後、東北森林管理局、岩手県、宮古市等の関係各所と「山田線土砂崩壊に関する斜面防災協議会(仮称)」を設置し、技術的見解を取りまとめ検討してまいります。

3. その他

- 山田線の列車は、盛岡駅～上米内駅間および川内駅～宮古駅間での折り返し運転を実施しております。3月26日(土)以降の運転予定につきましては決まり次第お知らせいたします。
- 宮古方面への誘客を目的とした日帰り旅行商品「早春の宮古 お散歩&海鮮ランチ」を2月26日(金)より発売開始いたします。
- 次回以降のお知らせは3月4日(金)以降を予定しております。なお、大きな動きがあった場合には、随時お知らせいたします。

被災箇所現状

【別紙1】

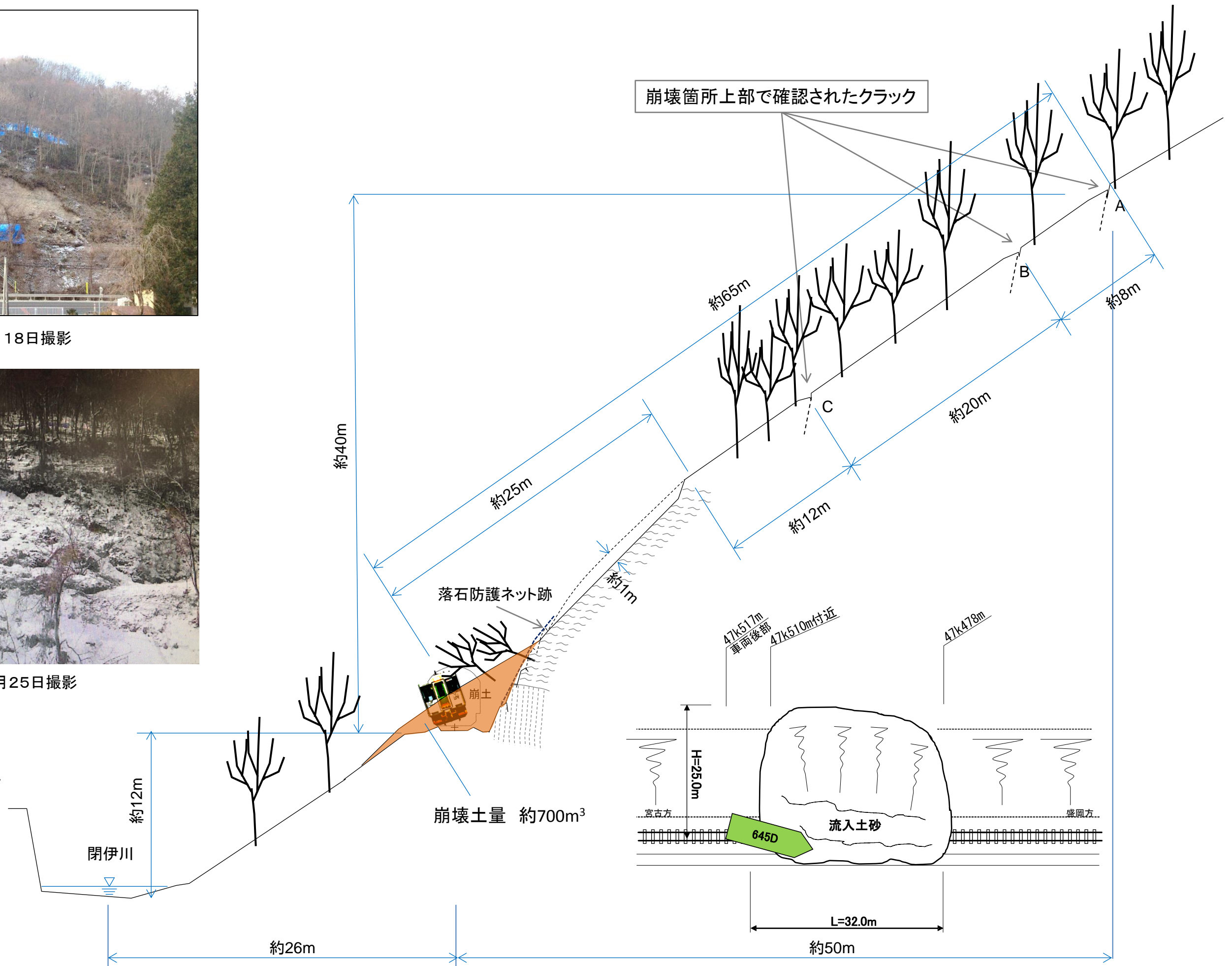


平成27年12月18日撮影

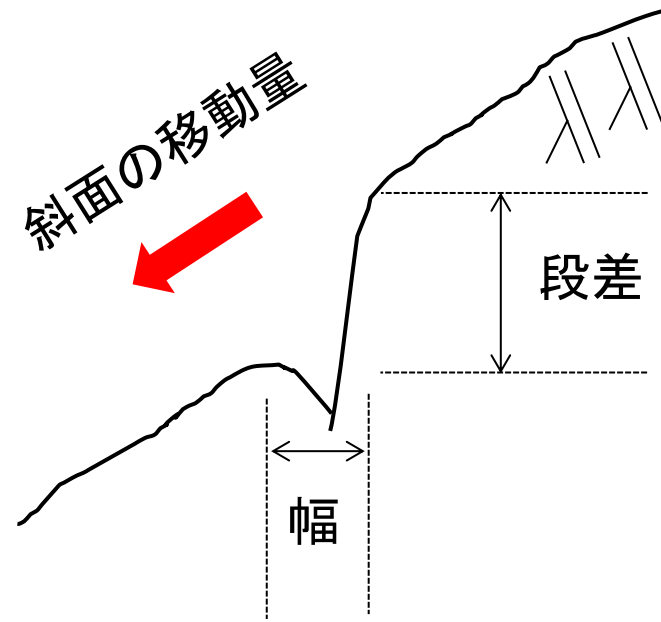
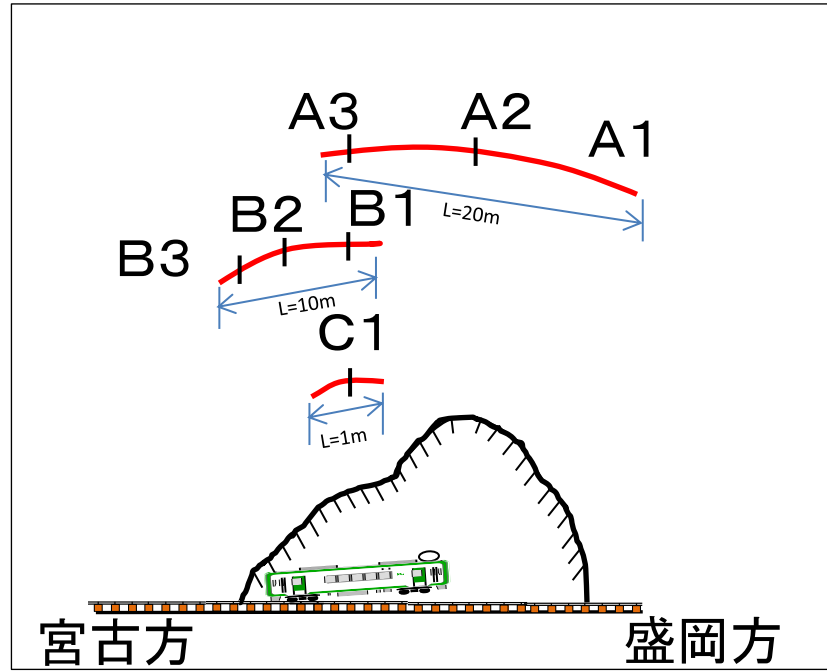


平成28年2月25日撮影

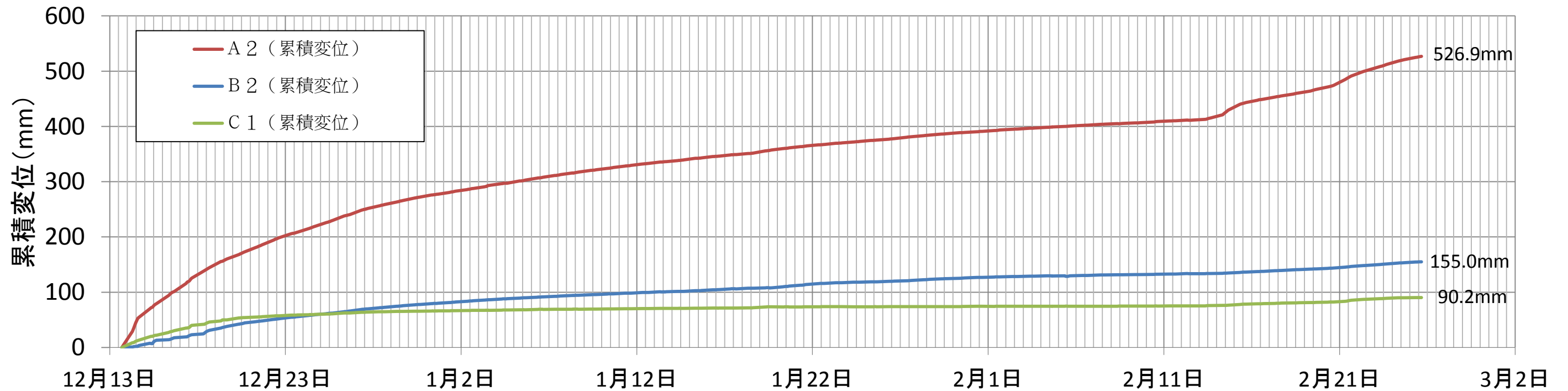
国道106号



クラックA～Cの計測箇所



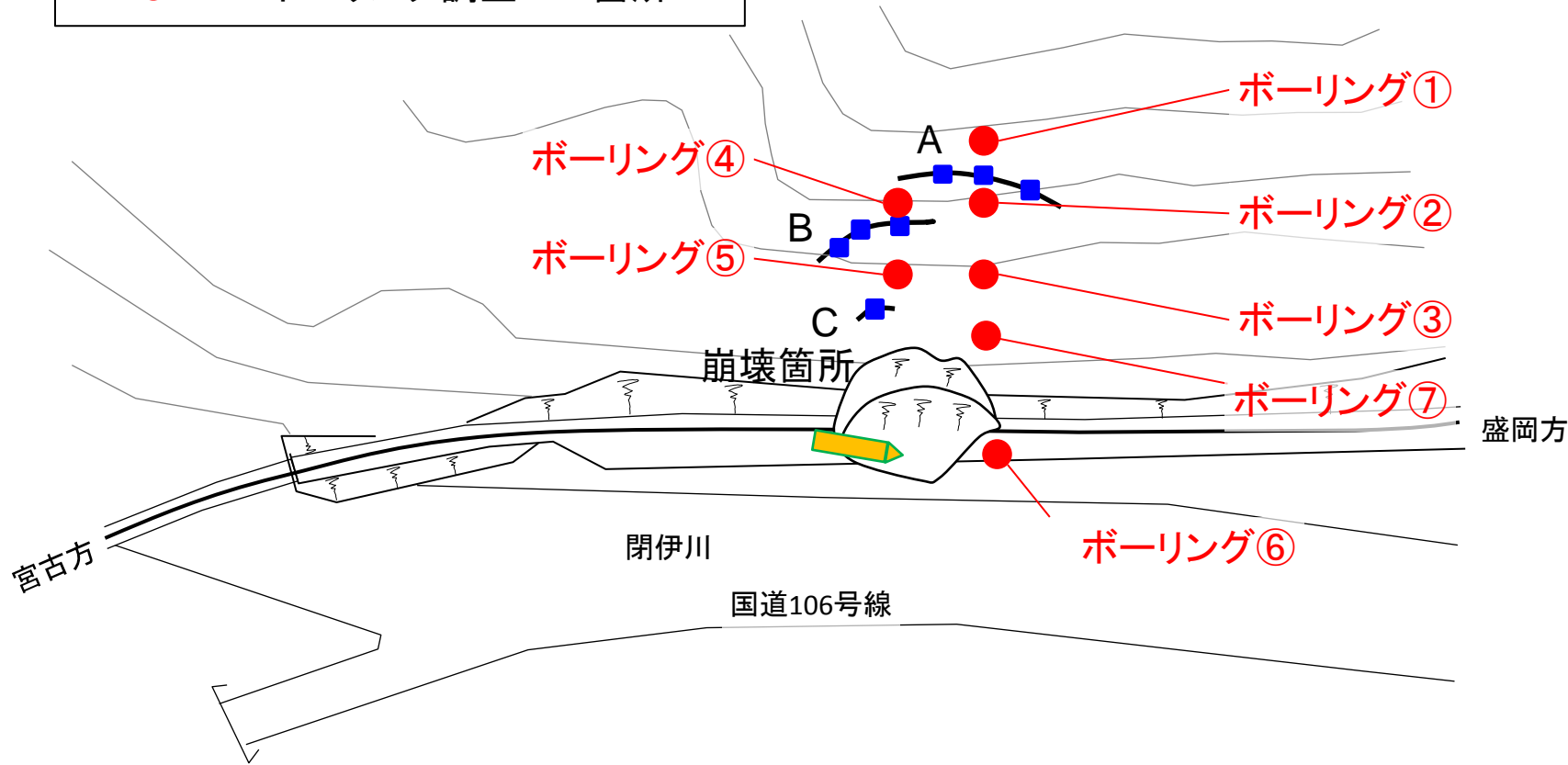
	発見時(12月13日)			12月13日以降の斜面の移動量 (2月25日 16:00現在)
	長さ	幅	段差	
クラックA	20m	20cm	60cm	526.9mm [A2]
クラックB	10m	20cm	20cm	155.0mm [B2]
クラックC	1m	20cm	0cm	90.2mm [C1]



※クラック計測結果が2mm/h以上のときは作業を中断します

ボーリング調査箇所と調査深度

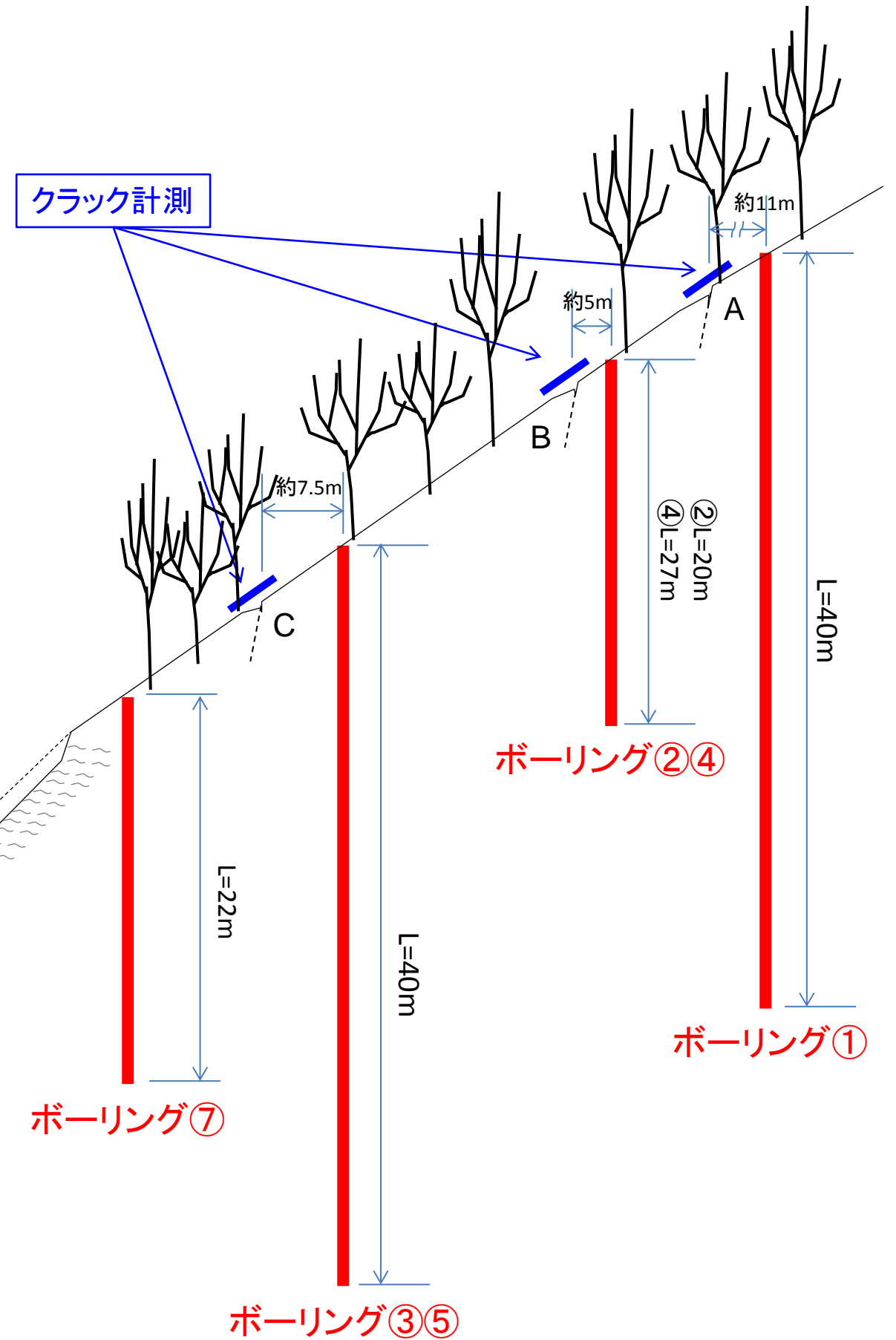
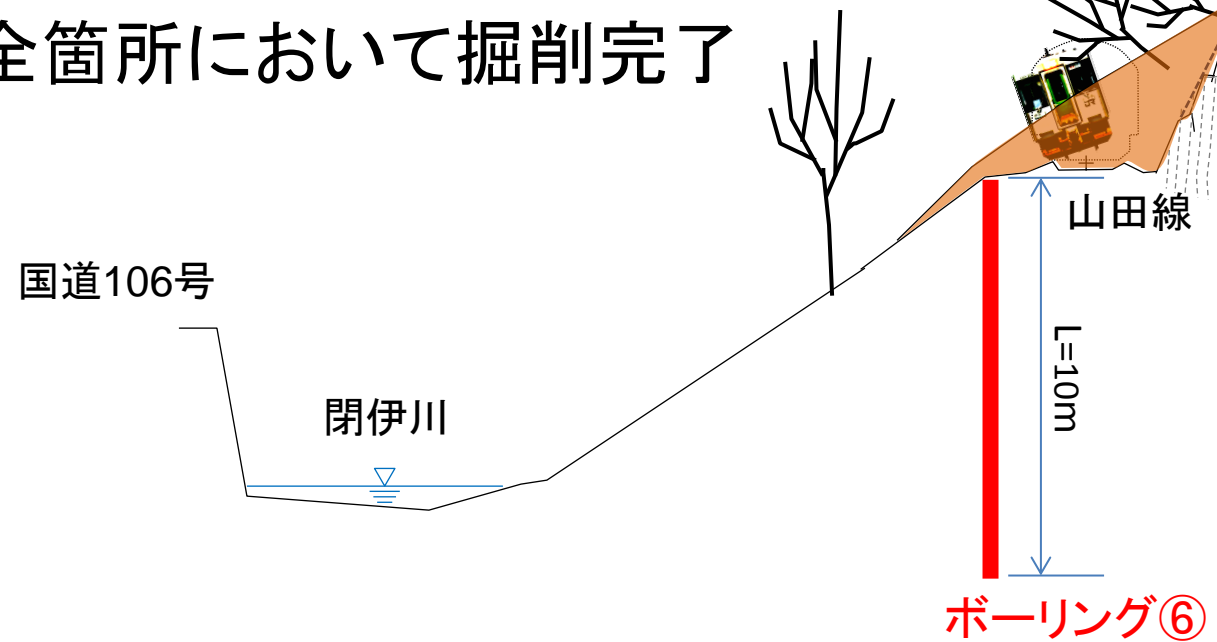
- / / クラック計測 7箇所
- ボーリング調査 7箇所



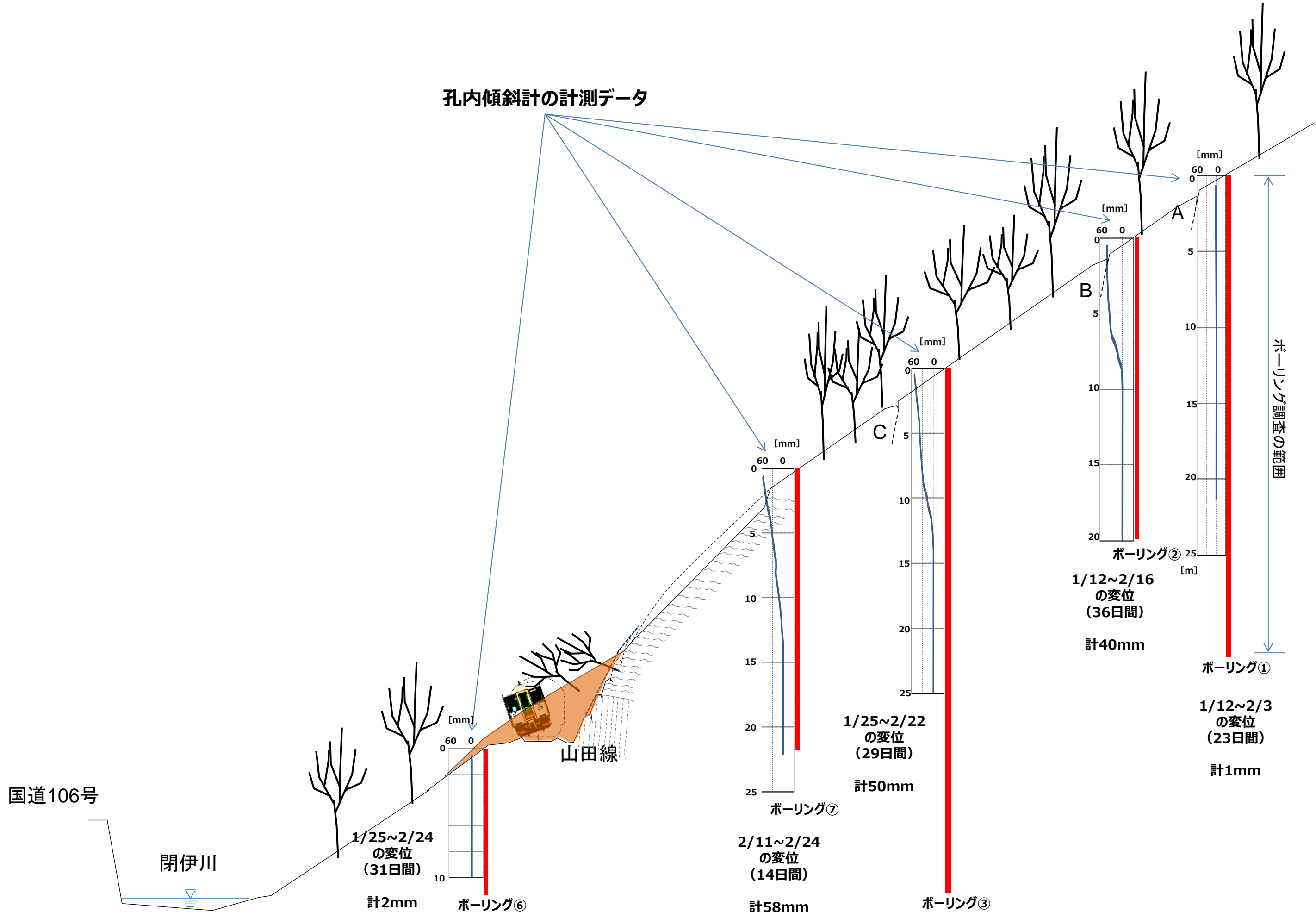
＜調査箇所＞

● 7箇所

2/11 全箇所において掘削完了



孔内傾斜計の計測データ



復旧に向けてのスケジュール

	12月	1月	2月	3月	4月～
	▼ 12/11 崩壊事象発生 ▼ 12/13 崩壊斜面上部クラック発見			気温上昇および融雪	
クラック計測	—————				
斜面調査	ボーリング調査 —————			孔内傾斜計・ひずみ計による計測 弾性波探査 ———	
山田線土砂崩壊に関する斜面防災協議会（仮称）				—————	———
復旧計画策定・工事				———	———

※復旧工事の着手時期については、融雪期にかけてクラック計測等を行うとともに、山田線土砂崩壊に関する斜面防災協議会（仮称）にて技術的見解をとりまとめ検討してまいります。